

業績説明会資料

2023年3月期(2022年度)
第2四半期(累計)決算

2022年11月18日

 **日油** 株式会社

説明内容

1. 2023年3月期
第2四半期業績について

2. 2023年3月期
通期業績予想について

連結損益計算書

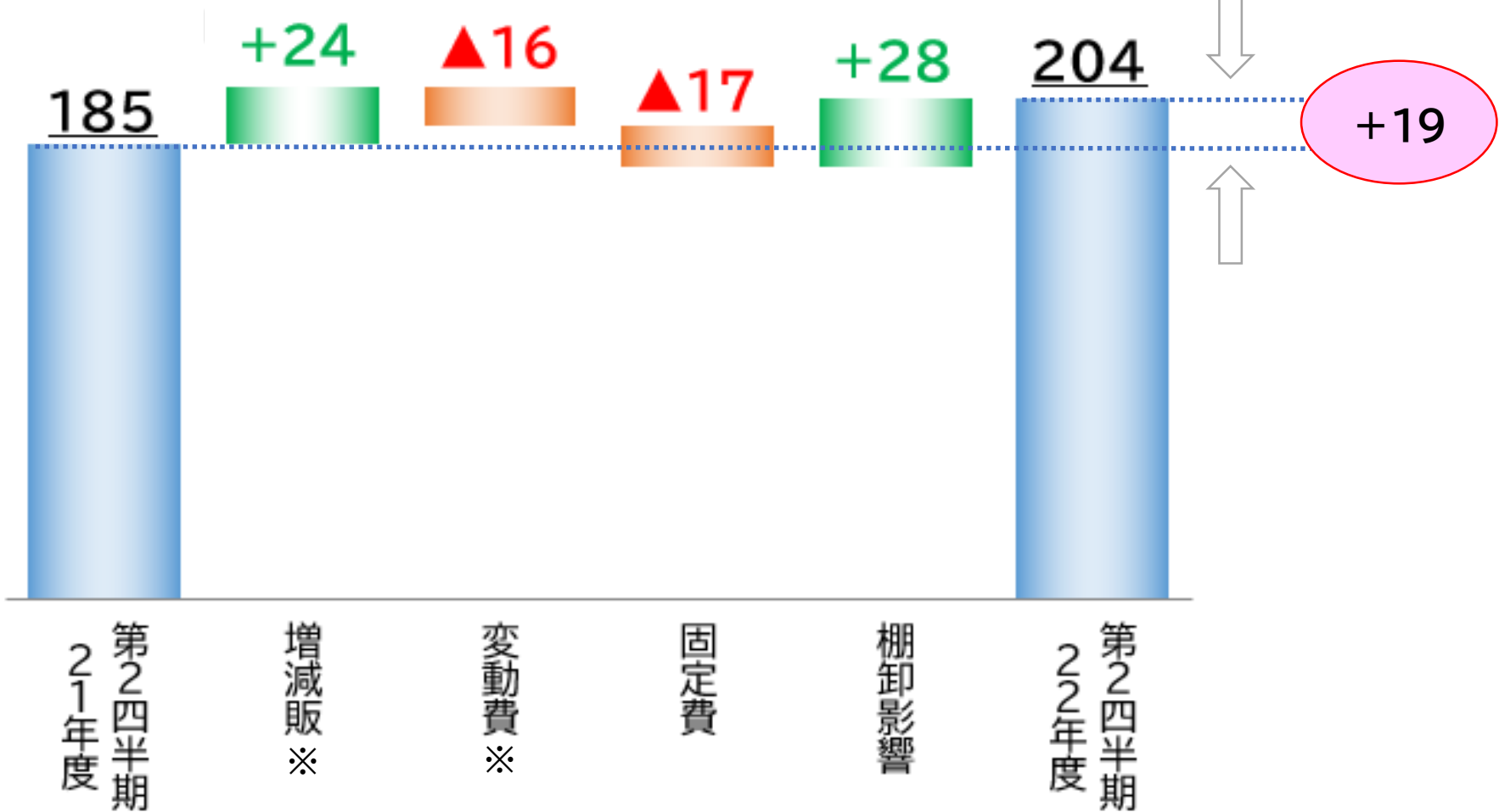
[単位:億円]

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減額	増減率
売上高	901	1,038	+137	+15.2%
売上総利益 (売上総利益率)	346 (38.4%)	376 (36.2%)	+30	+8.7%
販売費・管理費	161	171	+11	
営業利益 (営業利益率)	185 (20.5%)	204 (19.7%)	+19	+10.4%
営業外損益	7	21	+14	
経常利益	193	226	+33	+17.3%
特別損益	0	26	+25	
税金等調整前四半期純利益	193	251	+59	+30.4%
法人税・調整額他	59	77	+18	
当期純利益※	133	174	+41	+30.8%

※当期純利益＝親会社株主に帰属する四半期純利益

連結営業利益の差異内訳(対前年同期)

[単位:億円]



※増減販及び変動費で+10億円の為替影響

機能化学品セグメント実績

[単位:億円]

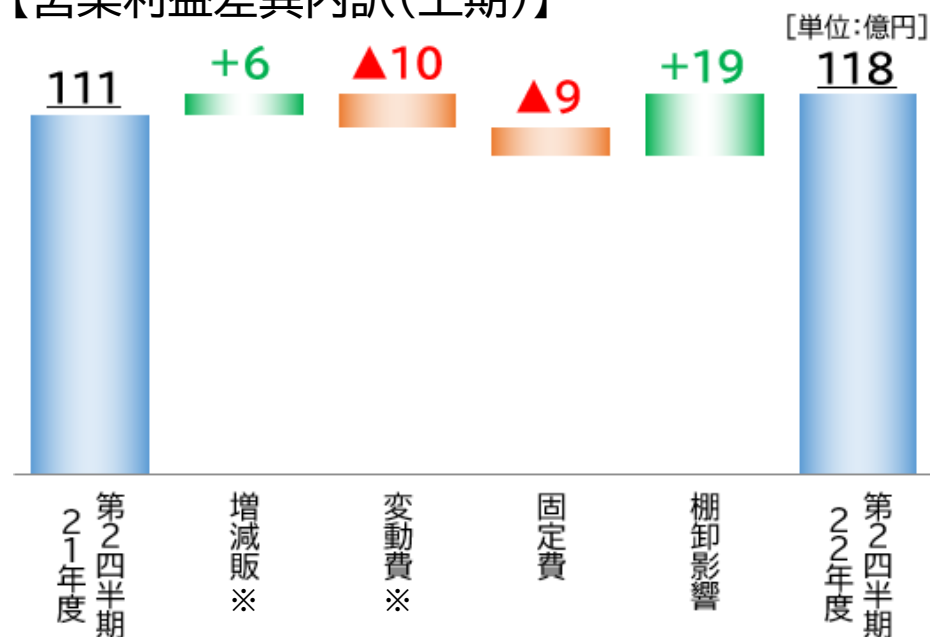
	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減額
売上高	621	724	+103
営業利益	111	118	+7
営業利益率	17.8%	16.2%	

売上高の主な要因(対前年同期)

- ・原燃料価格高騰に対する販売価格の改定
- ・化粧品原料の需要好調

営業利益の主な要因(対前年同期)

【営業利益差異内訳(上期)】



【増益要因】

- ・原燃料価格の大幅上昇により第2四半期末棚卸資産の評価額が押し上げられ棚卸影響の発生
- ・化粧品原料の需要好調

【減益要因】

- ・原燃料価格高騰と販売価格改定の影響を含む変動費の増加
- ・自動車関連の需要低調

※増減販及び変動費で▲0億円の為替影響

ライフサイエンスセグメント実績

[単位:億円]

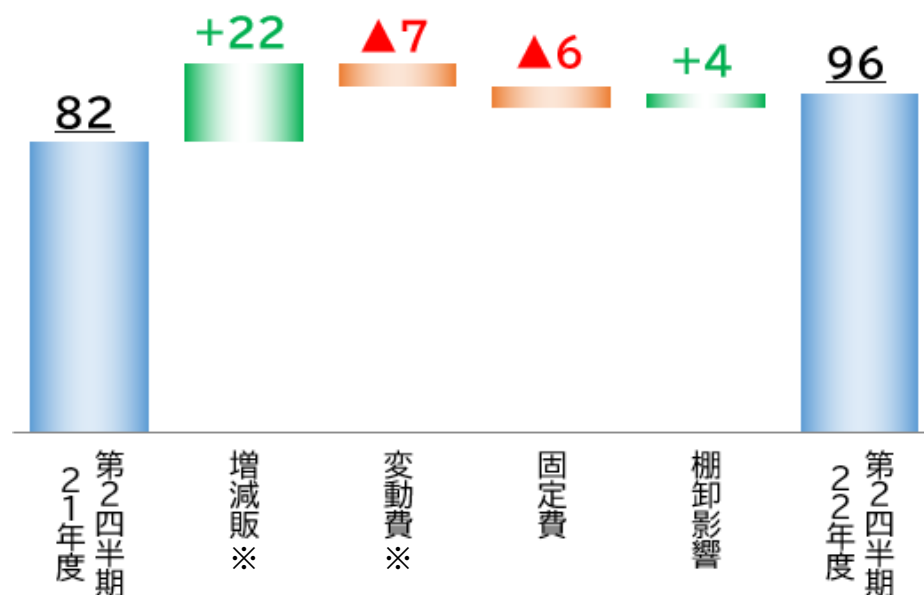
	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減額
売上高	171	212	+40
営業利益	82	96	+14
営業利益率	48.2%	45.4%	

売上高の主な要因(対前年同期)

- ・外貨建販売の為替影響
- ・食品事業における原燃料価格高騰に対する販売価格の改定
- ・生体適合性素材およびDDS医薬用製剤原料の需要好調

【営業利益差異内訳(上期)】

[単位:億円]



営業利益の主な要因(対前年同期)

【増益要因】

- ・外貨建販売の為替影響
- ・生体適合性素材およびDDS医薬用製剤原料の需要好調

【減益要因】

- ・原燃料価格高騰と販売価格改定の影響を含む変動費の増加

※増減販及び変動費で+10億円の為替影響

化薬セグメント実績

[単位:億円]

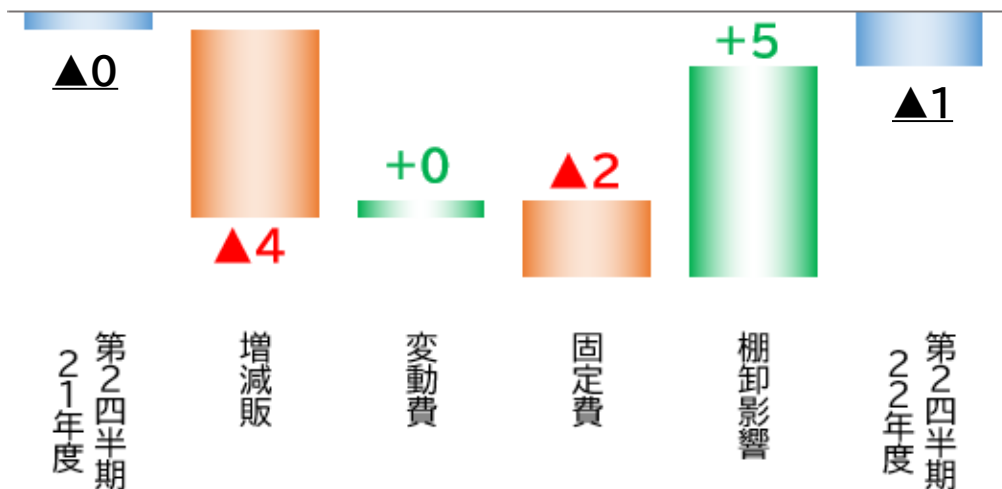
	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	増減額
売上高	106	100	▲7
営業利益	▲0	▲1	▲1
営業利益率	▲0.4%	▲1.3%	

売上高の主な要因(対前年同期)

- ・産業用爆薬類は減収
- ・防衛関連製品は減収
- ・機能製品は減収

【営業利益差異内訳(上期)】

[単位:億円]



営業利益の主な要因(対前年同期)

【減益要因】

- ・原料調達先における事故
(当社製品の生産にも影響)

連結貸借対照表

[単位:億円]

	22年 3月末	22年 9月末	増減額		22年 3月末	22年 9月末	増減額
現預金	854	909	+55	仕入債務	218	248	+30
売上債権	452	447	▲5	有利子負債	56	46	▲10
棚卸資産	399	514	+115	繰延税金負債	111	94	▲17
その他流動資産	28	32	+4	その他	293	312	+19
有形・無形 固定資産	629	635	+6	(負債)	(679)	(700)	(+21)
投資有価証券	478	419	▲59	株主資本	1,956	2,066	+110
その他	56	63	+6	その他の包括利益 累計額	253	243	▲10
				非支配株主持分	8	8	+0
				(純資産)	(2,217)	(2,318)	(+100)
資産	2,896	3,018	+121	負債・純資産	2,896	3,018	+121

連結キャッシュ・フロー計算書

[単位:億円]

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	132	112
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲45	1
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲59	▲77
長期・短期借入金の増減	▲1	▲13
自己株式取得	▲24	▲25
配当金の支払	▲34	▲38
その他	▲0	▲1
4. その他	8	15
1～4の計	36	50
5. 期末残高	802	865
フリー・キャッシュ・フロー	88	113

指標推移(前年同期)

	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期	前年同期比 増減
売上高営業利益率 [%]	20.5	19.7	▲ 0.8
売上高経常利益率 [%]	21.4	21.8	+ 0.4
D/E レシオ [倍]	0.05	0.02	▲ 0.03
1株当たり四半期純利益 [円]	161.6	213.4	+51.8
1株当たり純資産 [円]	2,587.7	2,830.8	+ 243.1
9月末当社株価 [円]	6,320	5,220	
cf. 日経平均株価	29,453	25,937	
株価純資産倍率(PBR) [倍]	2.44	1.84	▲ 0.60

2022年度想定事業環境

事業環境: ワクチン接種普及により、経済活動正常化
 原燃料価格高騰、半導体供給不足の継続等のリスク要因
 円安傾向が継続

		21年度 実績	22年度 前回想定	22年度 今回想定
パーム油価格 (FOBマレーシア)	US \$ /MT	1,055	1,600	1,380
国産ナフサ価格	円/KL	56,600	76,000	81,500
為替レート	円/US \$	112	120	140
	円/EUR	131	135	140

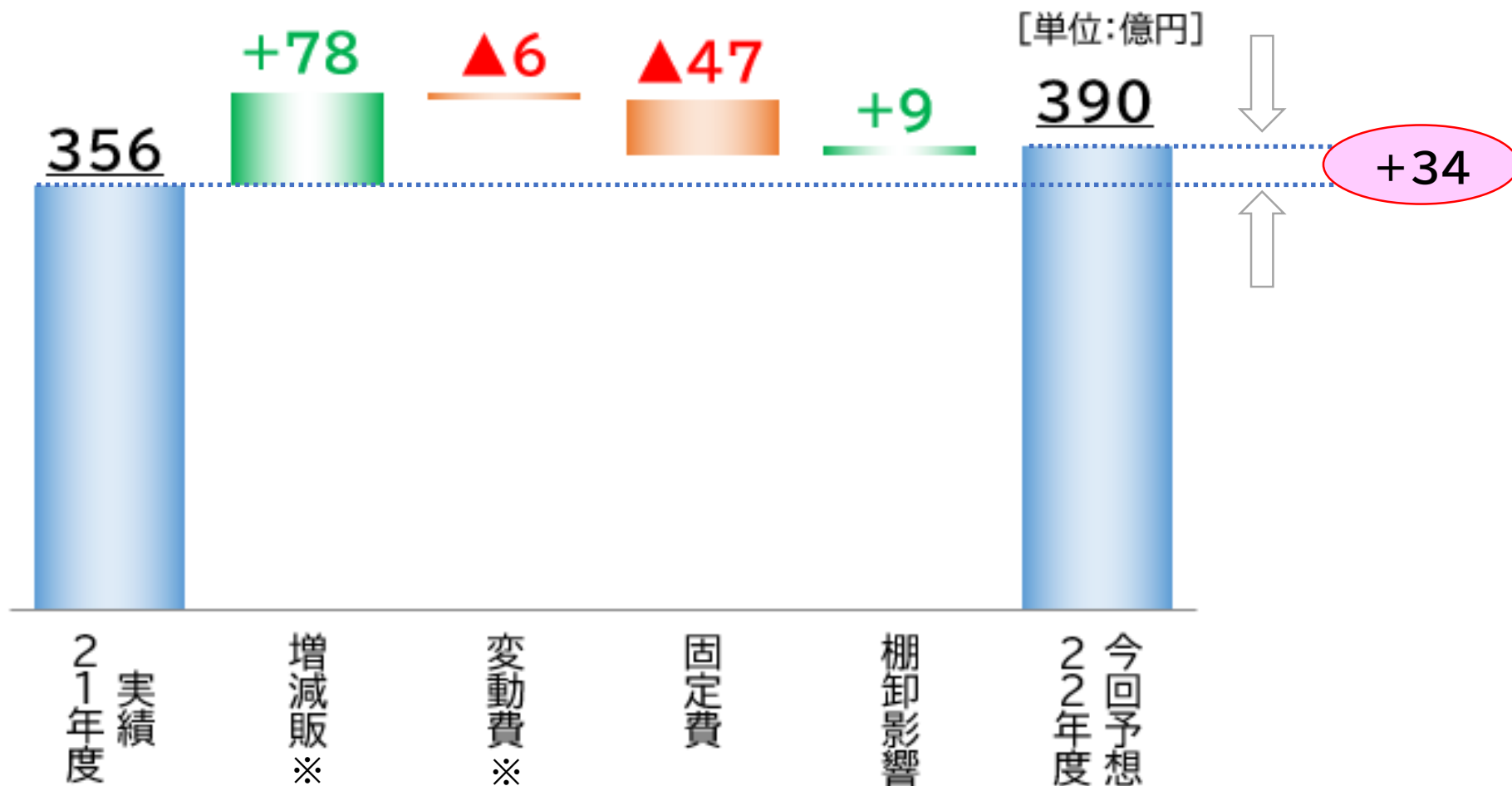
2022年度業績予想の概要

[単位:億円]

	2021年度 実績	2022年度 前回予想	2022年度 今回修正予想	前回予想から の増減額	前回予想から の増減率
売上高	1,926	2,130	2,200	+70	+3.3%
営業利益 (営業利益率)	356 (18.5%)	345 (16.2%)	390 (17.7%)	+45	+13.0%
経常利益	376	356	414	+58	+16.3%
当期純利益※	267	251	323	+72	+28.7%
1株当たり 当期純利益	323.8円	305.7円	396.6円	+90.9円	

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

2022年度連結営業利益の差異内訳(対前年度)



※増減販及び変動費で+26億円の為替影響

機能化学品セグメント予想(対前年度)

[単位:億円]

	2021年度 実績	2022年度 今回修正予想	増減額
売上高	1,284	1,473	+189
営業利益	215	217	+2
営業利益率	16.7%	14.7%	

売上高の主な要因(対前年度)

- ・原燃料価格高騰に対する販売価格の改定
- ・化粧品原料の需要好調

営業利益の主な要因(対前年度)

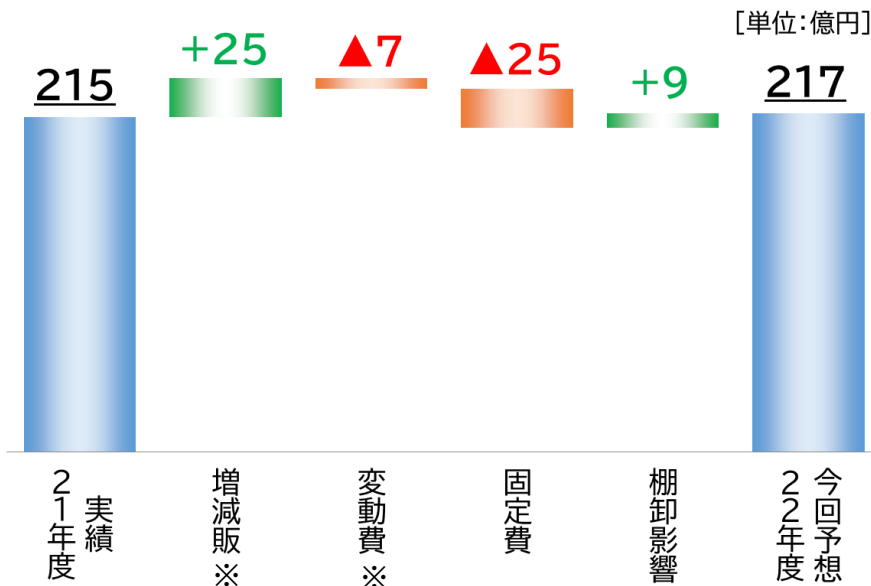
【増益要因】

- ・化粧品原料の需要好調
- ・外貨建販売の為替影響

【減益要因】

- ・営業活動正常化に向けた費用等増加
- ・原燃料価格高騰と販売価格改定の影響を含む変動費の増加

【営業利益差異内訳(通期)】



※増減販及び変動費で+1億円の為替影響

ライフサイエンスセグメント予想(対前年度)

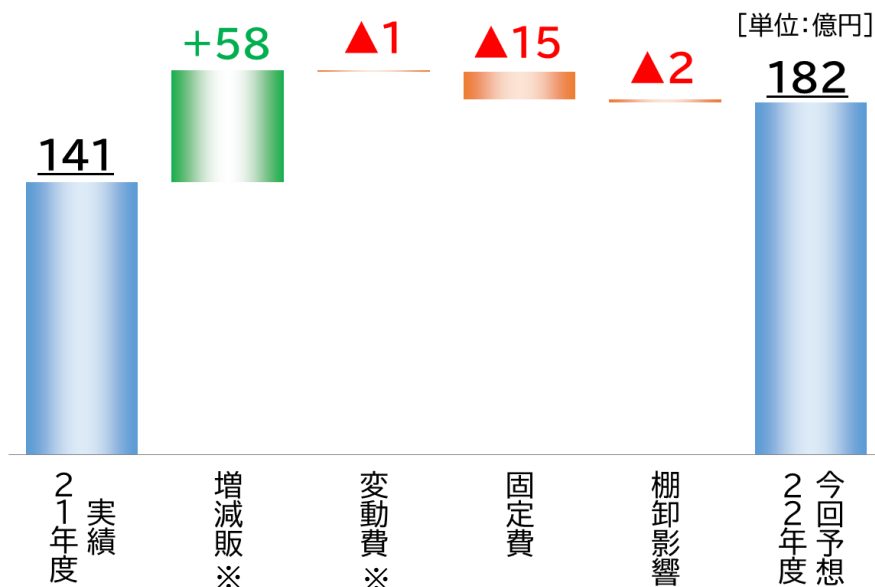
[単位:億円]

	2021年度 実績	2022年度 今回修正予想	増減額
売上高	337	425	+88
営業利益	141	182	+41
営業利益率	41.8%	42.8%	

売上高の主な要因(対前年同期)

- ・外貨建販売の為替影響
- ・食品事業における原燃料価格高騰に対する販売価格の改定
- ・生体適合性素材およびDDS医薬用製剤原料の需要好調

【営業利益差異内訳(通期)】



営業利益の主な要因(対前年同期)

【増益要因】

- ・外貨建販売の為替影響
- ・生体適合性素材およびDDS医薬用製剤原料の需要好調

【減益要因】

- ・増員による労務費増等の固定費増加

※増減販及び変動費で+25億円の為替影響

化薬セグメント予想(対前年度)

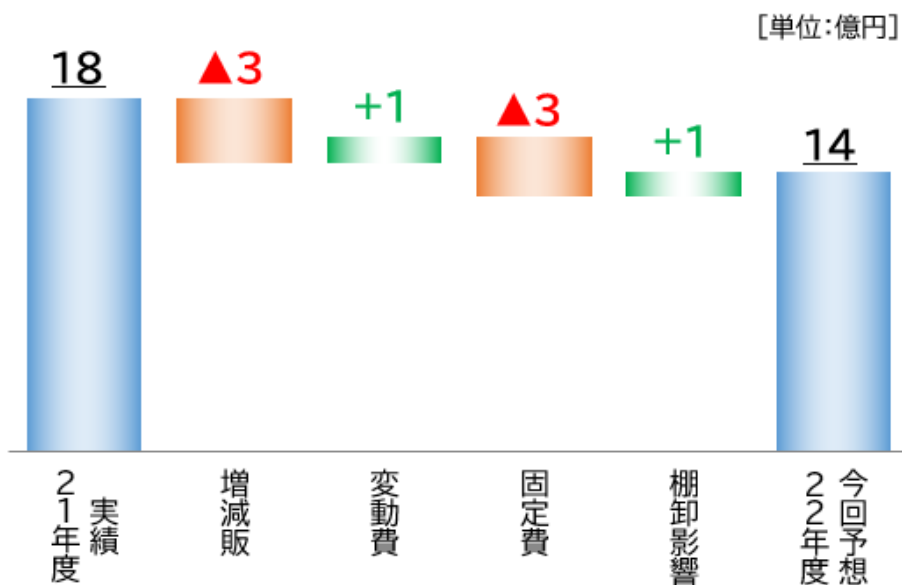
[単位:億円]

	2021年度 実績	2022年度 今回修正予想	増減額
売上高	300	300	▲0
営業利益	18	14	▲4
営業利益率	5.9%	4.7%	

売上高の主な要因(対前年同期)

- ・前年度並

【営業利益差異内訳(通期)】

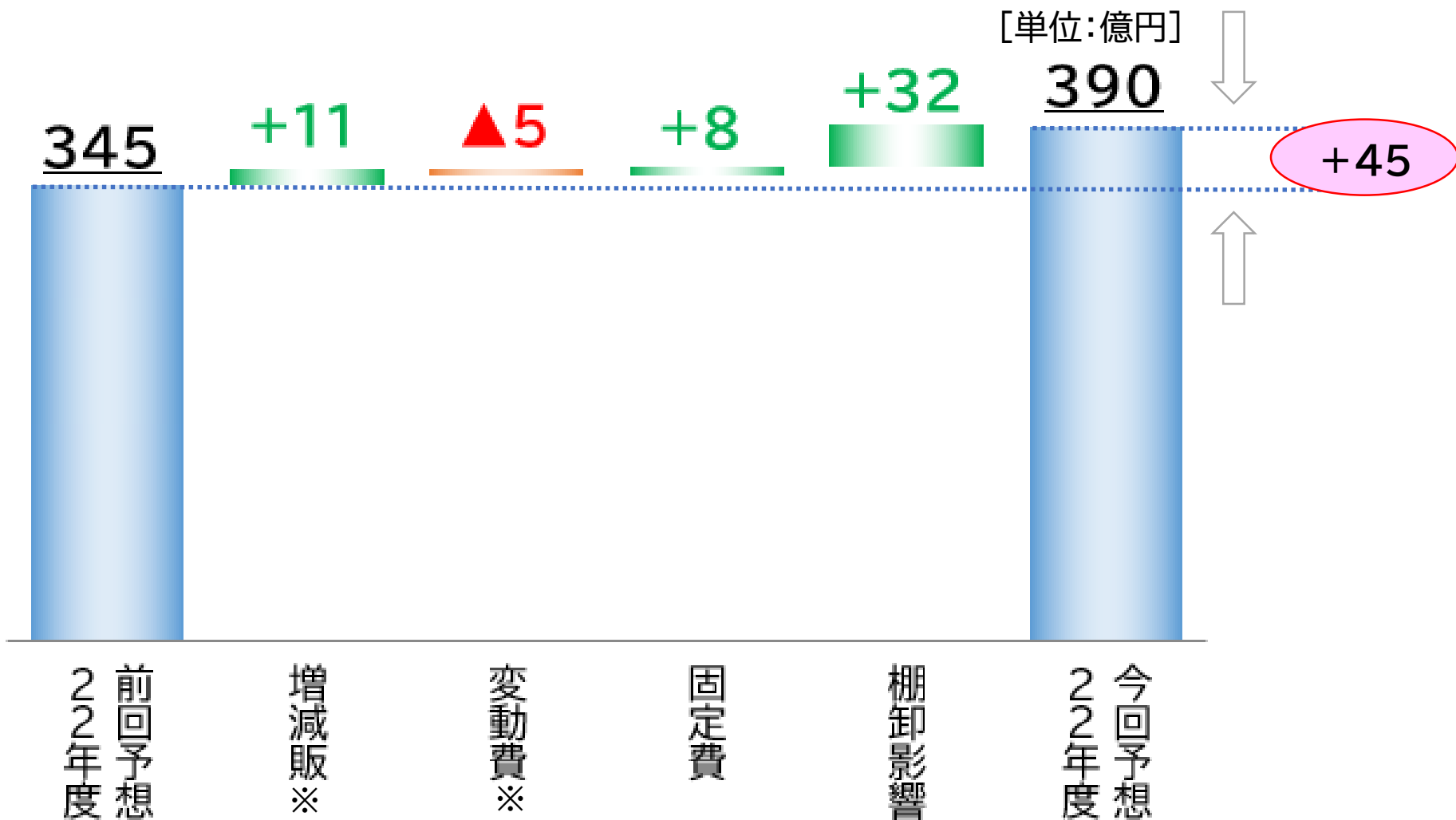


営業利益の主な要因(対前年同期)

【減益要因】

- ・原料調達先における事故
(当社製品の生産にも影響)

2022年度連結営業利益の差異内訳(対前回業績予想)



※増減販及び変動費で+14億円の為替影響

機能化学品セグメント予想(対前回業績予想)

[単位:億円]

	2022年度 前回予想	2022年度 今回修正予想	増減額
売上高	1,437	1,473	+36
営業利益	202	217	+15
営業利益率	14.1%	14.7%	

売上高の主な要因 (対前回業績予想)

- ・原燃料価格高騰に対する販売価格の改定

営業利益の主な要因 (対前回業績予想)

【増益要因】

- ・原料価格が想定より更に上昇見込みのため期末棚卸資産の評価額が押し上げられたこと等の棚卸影響の発生

【営業利益差異内訳(通期)】



※増減販及び変動費で▲2億円の為替影響

ライフサイエンスセグメント予想(対前回業績予想)

[単位:億円]

	2022年度 前回予想	2022年度 今回修正予想	増減額
売上高	390	425	+35
営業利益	157	182	+25
営業利益率	40.3%	42.8%	

売上高の主な要因 (対前回業績予想)

- ・外貨建販売の為替影響
- ・食品事業における原燃料価格高騰に対する販売価格の改定

【営業利益差異内訳(通期)】



営業利益の主な要因 (対前回業績予想)

【増益要因】

- ・外貨建販売の為替影響

【減益要因】

- ・原燃料価格高騰と販売価格改定の影響を含む変動費の増加

※増減販及び変動費で+17億円の為替影響

化薬セグメント予想(対前回業績予想)

[単位:億円]

	2022年度 前回予想	2022年度 今回修正予想	増減額
売上高	299	300	+1
営業利益	9	14	+5
営業利益率	3.0%	4.7%	

売上高の主な要因
(対前回業績予想)

- ・前回予想並

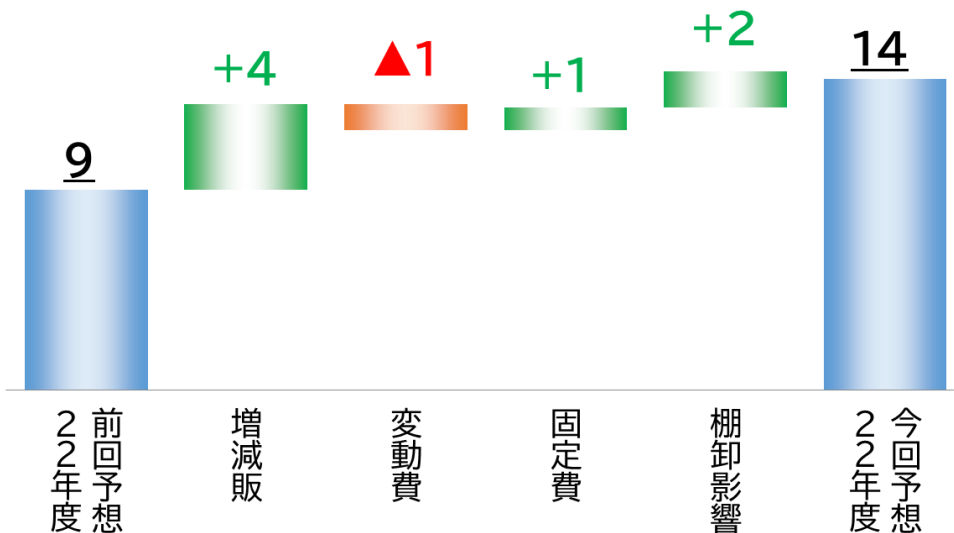
営業利益の主な要因
(対前回業績予想)

【増益要因】

- ・品種構成による改善

【営業利益差異内訳(通期)】

[単位:億円]



2022年度株主還元

◆年間配当は、10円増配の100円とする

1株当たり 配当金	2021年度 実績	2022年度 前回予想	2022年度 今回修正予想	前回予想からの 増減額
中間配当	43円	45円	50円	+5円
期末配当	47円	45円	50円	+5円
年間配当	90円	90円	100円	+10円

◆自己株式は、30億円取得(22年11月4日~23年1月31日)

- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先：日油株式会社 経理部 IR室 森知明
住 所：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話：03-5424-6651
F A X：03-5424-1482
E - m a i l：iroffice@nof.co.jp
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.nof.co.jp